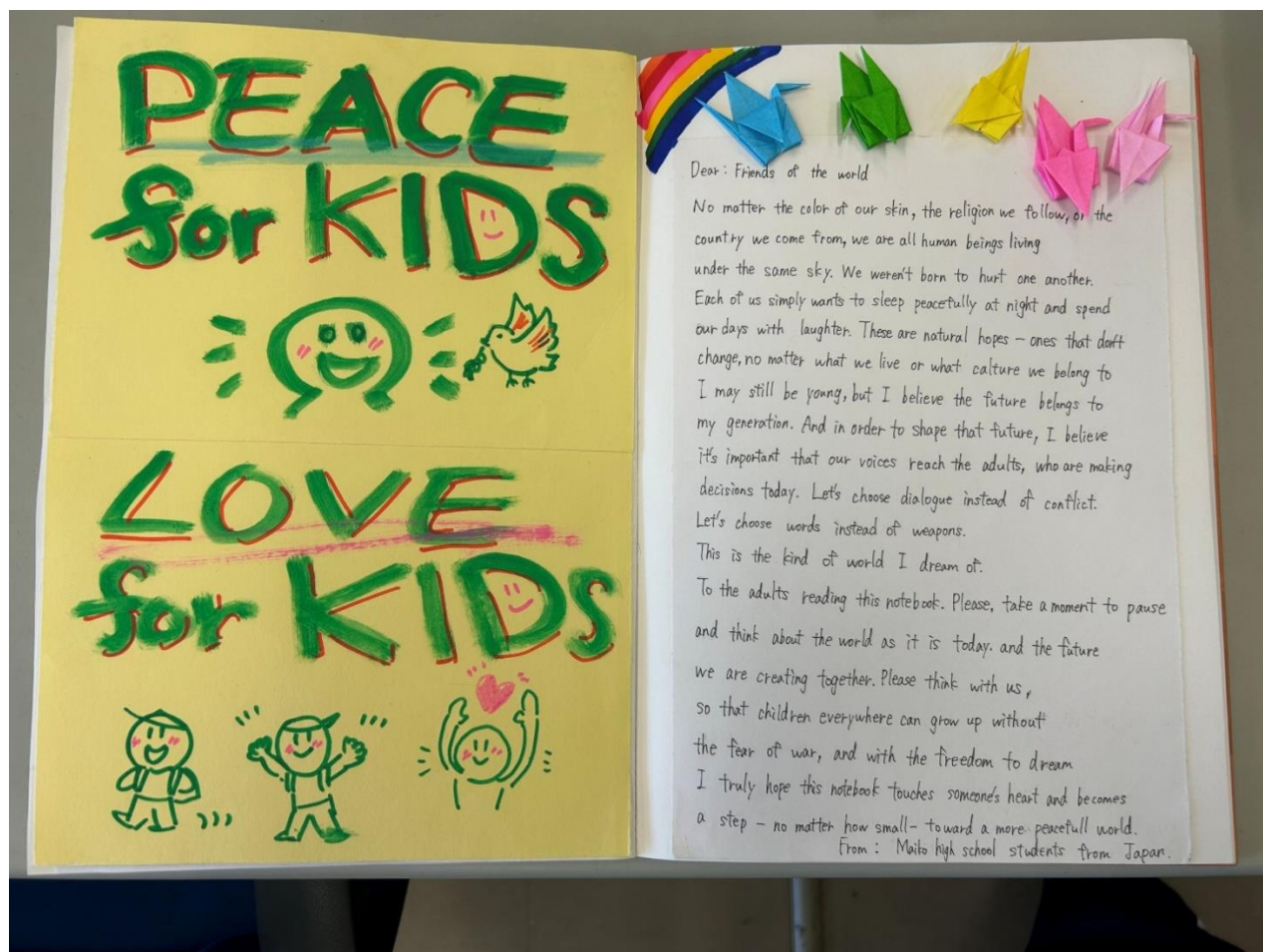


2025年10月、スロベニアユネスコ国内委員会が実施する「The Wind of Peace Project」(平和の風プロジェクト)に参加しました。ノートはスロベニアを出発してイラクとスリランカを巡って日本に届きました。生徒3名がそれぞれに平和への願いを書いてスロベニアに送り返しました。11月7日にはスロベニアの学校とオンライン交流会を予定しています。プロジェクトの詳細については以下をご参照ください

<https://www.unesco-school.mext.go.jp/call-for/%e5%8f%82%e5%8a%a0%e6%a0%a1%e5%8b%9f%e9%9b%86%ef%bc%81the-wind-of-peace-project%ef%bc%88%e5%b9%b3%e5%92%8c%e3%81%ae%e9%a2%a8%e3%83%97%e3%83%ad%e3%82%b8%e3%82%a7%e3%82%af%e3%83%88%ef%bc%89/>

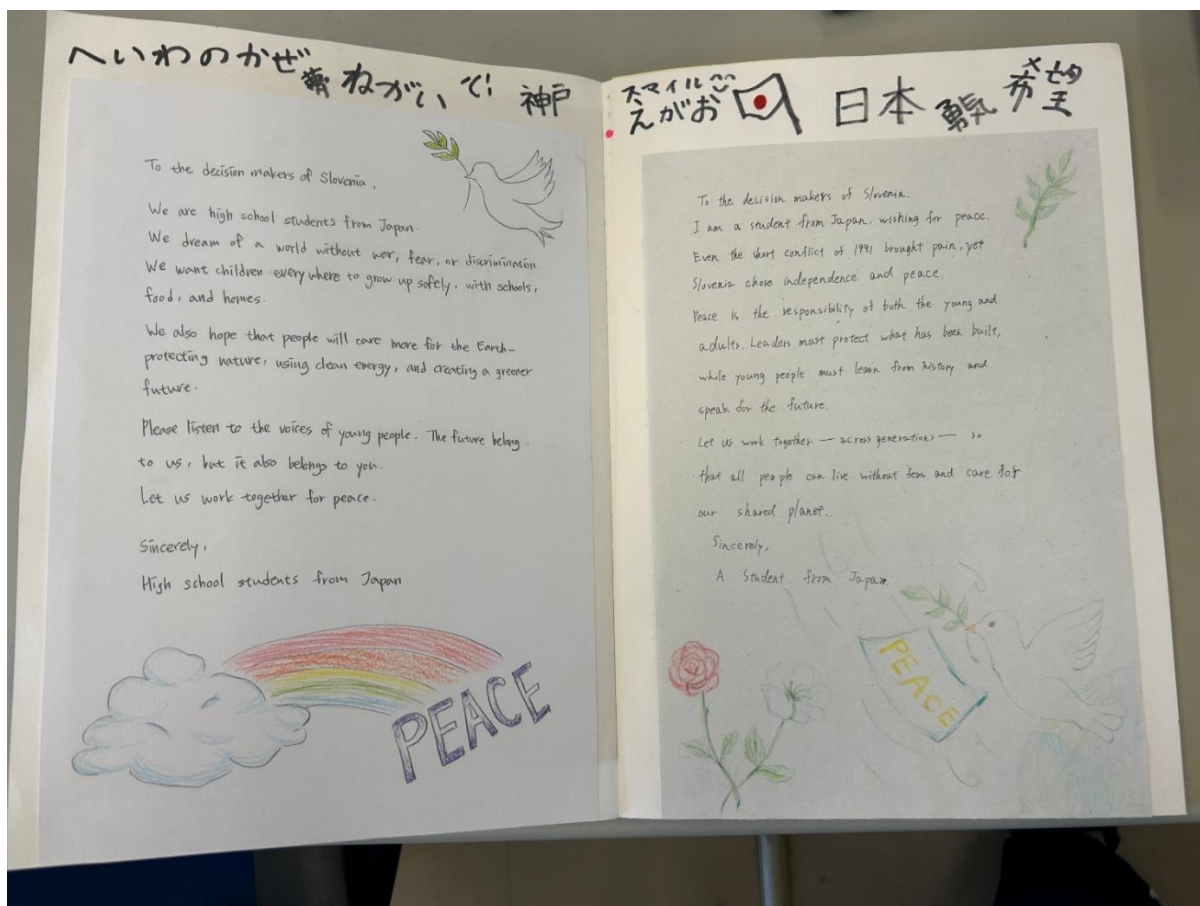


参加した3名の生徒の感想

今回「the wind of peace」のプロジェクトに参加して、はじめは自分に何ができるのか不安もありましたが、小さな声でも、平和を願う思いを発信することには力があると気づくことができました。色々なことを決める決定権を持つのは大人かもしれないけれど、その未来を生きていくのは私たち若い世代です。だからこそ、今のうちから自分の意見をしっかり持ち、伝えていくことが大切だと思いました。自分の思いを、戦争を止められる大人たちに伝えられてよかったと思っています。戦争のない未来を願って、自分なりの言葉で伝えられたことに意味があったと思います。今回のプロジェクトで現実と向き合い、「なぜ戦争がなくなるのか」「何ができるのか」を考えるきっかけになりました。苦しんでいる人たちに直接何かをすることはできなくても、少しでも心に届くようにと願って、心を込めて書きました。

この経験を通して、平和はただの言葉じゃなく、自分たちが守るものだ実感しました。

戦争のない未来を信じて、これからも声を上げ続けたいです。



私は、今回「The Wind of Peace」のプロジェクトに参加し、改めて自分の言葉で平和を語ることの大切さを感じました。私は高校生平和大使の活動メンバーとして

日々平和の尊さを伝える活動をしています。このプロジェクトを通して“平和を願う”という思いが、国や言葉を越えてつながっていることを実感しました。最初は、自分の小さな声にどれほどの意味があるのかちゃんと届くのかという不安もありました。けれど、平和を願う心には大きな力があると気づきました。たとえ一人ひとりの声は小さくても、集まればきっと風のように世界を動かせる、そんな希望を感じました。

戦争や争いは遠い国の出来事のように思えても、その影響は私たちの未来に確実に関わっています。

だからこそ、今を生きる若い世代の私たちが、しっかりと考え、自分の言葉で伝えていくことが大切だと思います。このプロジェクトを通して、「なぜ戦争はなくなるのか」「平和を守るために何ができるのか」という問いに正面から向き合うことができました。

直接誰かを救うことは難しくても、伝えること、学ぶこと、そして行動することはできる。それこそが、高校生平和大使の活動メンバーとして私にできる第一歩でもあると思います。今回の経験を通して、平和は誰かに与えられるものではなく、私たち一人ひとりがつくり出し、守り続けるものだの実感しました。これからも、平和を信じる心を忘れずに、言葉と行動で未来へ平和を届けていきたいです。

今回の「The Wind of Peace Project」への参加は、世界の平和のための活動として私にとって初めての経験でした。普段の生活の中では、戦争や争いを身近に感じることはあまりありません。しかし、ニュースなどを見ると、世界には今も戦争で苦しんでいる子どもたちがたくさんいて、そのたびに心が痛みました。そうした中で、自分にできることは何かを考えたとき、世界の平和のために自分の声を出すことこそが第一歩だと思いました。たとえ小さな声でも、その思いが世界に届くと信じて、このプロジェクトに参加しました。今回のプロジェクトに参加し、世界中の子どもたちが安心して笑い、夢を持って生きられる未来をさらに強く願うようになりました。一人一人の声が集まれば、きっと大きな力になると思います。これからも平和を大切に、その実現を心から願い続けたいです。



コープこうべ主催の「平和イベント」に参加された方々が心を込めて作ってくれた折り鶴を組み上げてスロベニアに送りました。